



さとやか

苅田町青少年育成町民会議だより

大人が変われば、
子どもも変わる。
できることからはじめよう

「子どもは、社会を映す鏡」
そんな考え方にしてみると、
私たち大人から、
先にしなければならないことがあります。
たくさんあります。
まず、大人自身がかわること。
そして、
子どもたちを温かく見守り、
支えてあげること。
さあ、はじめましょう。

町民会議 18年度1年間の活動

“継続は、力なり”

第18回総会

第2回イカダ大会

フィールドビンゴ

子どもフェスティバル
<木工工作>

オアシス人形劇

健全育成講演会

苅田町防犯パトロール隊
(青パト) 出発式

「少年の日」夜間補導

心豊かで
たくましい 青少年の育成を目指しましょう

シンナー等薬物乱用防止講演会

とき：平成 18 年 11 月 18 日

ところ：苅田中・新津中体育馆

『講演会に参加した生徒の想い』



私が薬物乱用防止講演会を聴いて思つたことは、薬物つて本当におそろしいんだなあ、ということです。講演をして下さった先生は、シンナーの乱用で目が見えなくなつていました。その他にも、普通見えないものが見えたり、聞こえないと言つていました。このような話は、実際よく聞いたことはあるけれど、本当にそうなつた人を私ははじめて見ました。そのことじたい私にとってはとても貴重なものでした。あとは、「自分が自分じやなくなる」とも言つっていました。そういう

う点で本当に恐いものなんだなあと思ひます。私は「薬物」なんて使用しないし、私には、全然関係ない！と思つていました。でも、先生の話を聞いて人事ではないなと思つたりもしました。もしかしたら何かが原因で私に「薬物」に手を出してしまったかもとそんなことを少しだけど思つたりもしました。そんな時、周りの人（友達や家族）は、私を止めてくれるだろうか、私にあきれはててしまわなければどうか、そんな変な心配まで、ふと心をよぎりました。もし、そういだらうか、そんな変な心配まで、そう思いました。そして、誰かから誘われたりしても、きちんとことわる勇気を持とう！とも思いました。こんなふうに思わせてくれた先生に「ありがとうございました」と言いたいです。

(新津中三年)

シンナーは、自分とはまったく無関係なものとして認識していて、私の周りにも吸う人なんていない、いるはずがないと思っていました。けれどこれから先、友達がその道に走つてしまふかもしれないし、私がそうなつてしまうかもしれません。無関係とは言えないと実感させられました。でも、いくらこの勉強をしたって、いくら薬物は恐ろしいものだと言わても心のどこかでやつぱり関係ないと思つている私には、今

回の講演もどこか別の世界の人の話だと思つていました。

しかし、実際は、私たちが簡単に手に入れるものだったのです。牟田さんはシンナーによつて視力を失つたそうですが私には信じられませ

り関係ないと思つている私には、今この学習があると思いますが、客観視せず、きちんと勉強して少しでも多くの知識を身につけていきたいと思ひます。

(新津中二年)

今日の講演で更に薬物はおそらくものだと思いしらされました。それと同時に薬物は私たちの身近な所に存在しているんだと思いました。講演を聞く直前まで「私には一生関係ないし、そもそも手に入らない」と思つてました。

しかし、実際は、私たちが簡単に手に入れるものだったのです。牟田さんはシンナーによつて視力を失つたそうですが私には信じられませ

た。私が今いくら無関係だと思つていても、将来私もそつなる可能性は、ゼロとはいえません。だから他人事なんかじやなく、私の周りでもシンナーを吸う人がでてくるかもしれません。いつかは、その人がおなかを痛めなければなりません。そして周りにシンナーを吸う人が出てきても、止められるくらいの知識をもつておかなければいけないと、痛感させられました。

これから先、また「薬物乱用防止」の学習があると思いますが、客観視せず、きちんと勉強して少しでも多くの知識を身につけていきたいと思ひます。

白庭神社どんど焼き

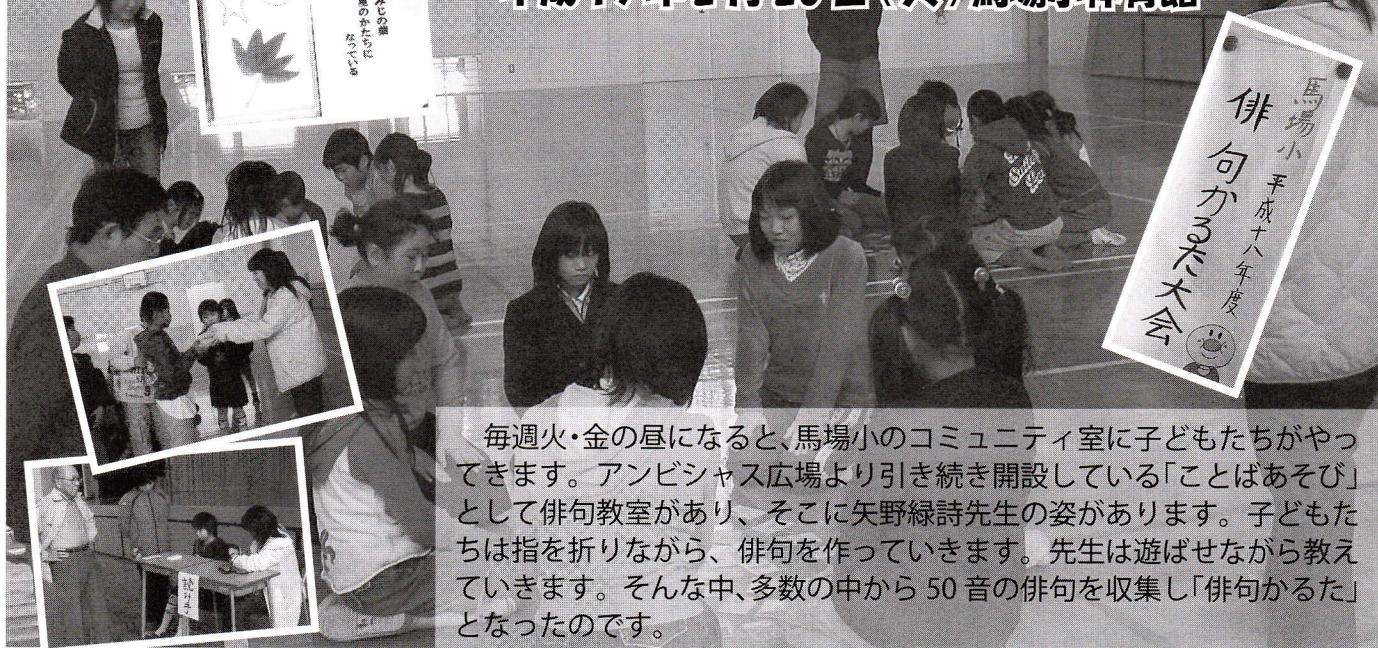
2月 12 日補導環境部会・生徒指導研修部会では、毎年恒例になりました、特別補導を行いました。委員の方々の、あの力強く燃えた炎のような厳しく、そして優しいまなざし、とても熱意を感じました。

(原文のまま掲載しています。)

はじめて!!

俳句かるた大会 開催

平成19年2月20日(火)馬場小体育館



毎週火・金の日になると、馬場小のコミュニティ室に子どもたちがやってきます。アンビシャス広場より引き続き開設している「ことばあそび」として俳句教室があり、そこに矢野縁詩先生の姿があります。子どもたちは指を折りながら、俳句を作っています。先生は遊ばせながら教えています。そんな中、多数の中から50音の俳句を収集し「俳句かるた」となったのです。

バア～バアの一言 No.3

「人間は遊ぶ人種である」…と唱えている人を知っているかなあ～。人は、楽しいものや興味深いものには、すんなり、無理なく身に付き、豊かな心へと導いてくれます。

子どもたちは、遊びの中から自然に、自発性・忍耐・協調性を学習しているものです。また、それらを援助してやるのは、地域の人や大人の役目です。現在は、遊びの場、遊びの時間、遊ぶ友が失われつつあるので、意図的に体験の場をつくり学習させようとしています。

又、遊びの中には、生産的な労働がないと、達成感や喜びは、出てきません、学校教育が親には、肥大になっているのではないかと感じることが多いです。生まれて生涯を終えるまで、社会教育や学習が続いている事を忘れないでどうか?しっかりと「やる木」を育てましょう。地域の人々と共に・・・。

子どもたちの五感をしっかりと育て、六感、直感やアイディアを大いに引き出しましょう。六感の中には、創造性や危機感が潜んでいるのです。呼び起しましよう。五感の育て方を考えてください。

ヒントは「あ・そ・び」です。



学力アップのときは、朝ごはんをしっかりと作りましょう。菓子パンは、おやつですよ。食べないのは、子の責任。子の責任を援助してやるのは、親の役目。お母さん、お父さんがんばりましょう。

子ども会をご存知ですか?

～新年度子ども会加入者募集のお知らせ～

各地区に、就学前2年幼児～中学3年生までの子どもたちで構成する会です。

地区毎に工夫を凝らし、お楽しみ会・クリスマス会・キャンプ・遠足などの企画をしています。

子ども会加入の手続き方法などの
問い合わせ先はこちら↓



中央公民館第1会議室
苅田町子ども会育成連合会
☎ 090-4589-3200
(田口まで)

↙夜須高原にて



リーダーを育てよう! ただいま募集中

リーダーを育てる活動を行なっています。いろんな体験をし、人とのふれあい・コミュニケーション力や自発性を育てよう。また、自立の一歩を促したいと思っています。(指導部 田口)

「家庭の日」・「オアシス運動」町内入選者発表

※皆さん、入選おめでとうございます。 =前号のつづき=

お母さんの料理

与原小四年 三よし ひな子

私のお母さんが作る料理はすごくおいしくて、家族みんなに大ひょうばんです。

お父さんは、夕ごはんになると、「おー。おいしい。ごはんを食べよう時間が一番幸せ。」

お姉ちゃんも、「おいしい、おいしい。」

そしてわたしも、「世界で一番おいしい。」

と言いながら食べます。するとお母さんは、「ママっち、料理の天才かねえ。」

とにかくしながら、ちょっと自慢気

に言います。するとみんなも思わず笑つ

てしまします。これがわが家の食事の風

けいです。

お母さんは、夕方仕事から帰つてくると、すぐ夕ごはんのじゅんびを始めます。

台所から野菜を切る音が聞こえてくると、今日のメニューが何か気になります。

そしてわたしはのぞきに行つたり、味見に行つたり、時どきお手伝いをしたり

します。この前は、お姉ちゃんとといつしょにぎょうざの皮に具をつみました。わ

たしが作ったのは、ちょっと変な形なのでやき上がつても、自分で作ったのが分

かります。でもおとうさんが、「さやちゃん」とひな子が作ったのはおい

しい。ママのお手伝いが上手にできています。

と言つてくれます。

これからもお手伝いをがんばつて、大きくなつたら今度はお父さんや、お母さん

ができるようにしたいなと思います。

家庭の日

苅田小三年 吉川 大貴

ぼくの家は、父母兄妹の五人家ぞくです。お父さんが休みの日は、たまにキヤツチボールをします。夏休みの間は、けつこう遊びに行きます。えい画やゲームセンターに行つたりします。

お母さんは、いつも家のじごとで、たいへんそうです。

兄は、野球のぶかつを毎日がんばっています。兄ちゃんとは、よくケンカもします。でもゲームをしたりして、遊ぶ事も多いです。

妹は一才の赤ちゃんです。赤ちゃんは、いろいろな物を、口に入れてよだれだけにするけど、たくさんわらつたりして、おもしろいです。

ぼくの家は、ほとんど毎日夜ごはんを、みんなで食べています。夜ごはん

は、早い時もおそい時もあつていろいろです。ごはんは一人で食べるのとみんなで吃るのは、みんなで食べる

ほうが、おいしいんだな、と思ってます。夜はにぎやかで楽しいです。

たまに、みんなは、お父さんやお母

さんをきらいなんて思つていませんか?お父さんやお母さんがいないと、お金がなくて、食べ物もなくて、死んでしまいます。だから、お父さんやお

母さんを、大事にしないとダメです。

でも五年生ぐらいの頃、ようやく気付きました。人間には言葉を使うことによって、おたがいさつなんか、別にどうでもいい

が返つてると、とても気持ち

がいいものです。

ぼくは「オアシス運動」という言葉がとても好きです。「お

アシス運動」によつて、たくさんの人と仲よくしたい

と思います。

(作文は原文のまま掲載しています)

あいさつの大切さ

南原小六年 久原 将史

ぼくは、三年生の頃までは、あいさつが苦手でした。友達にあつた時などは、大きい声でいさつができずにいました。とてもはずかしかったからです。

その頃、どうしてあいさつをするのかなと思つていました。あいさつなんか、別にどうでもいい

が返つてると、とても気持ち

がいいものです。

でも五年生ぐらいの頃、ようやく気付きました。人間には言葉を使うことによって、おたがい

が返つてると、とても気持ち

がいいものです。

ぼくは「オアシス運動」という言葉がとても好きです。「おアシス運動」によつて、たくさんの人と仲よくしたい

と思います。

この四つの言葉は、人間関係をよりよくする、まほう

うござります」「失礼しました」「すみませんでした」「ありがとうございます」

が返つてると、とても気持ち

がいいものです。

ぼくは「オアシス運動」という言葉がとても好きです。「おアシス運動」によつて、たくさんの人と仲よくしたい

と思います。

(作文は原文のまま掲載しています)

毎月第3日曜日は
「家庭の日」

18年度 県入賞者

部門	賞	学校名	名前
ポスター	奨励賞	苅田中1年	松田 美穂
〃	奨励賞	苅田中3年	荒巻 千春
〃	奨励賞	苅田中3年	嶋村 あずさ
書道	奨励賞	苅田小1年	いもと あかり



「家庭の日」・「オアシス運動」看板を設置しました。

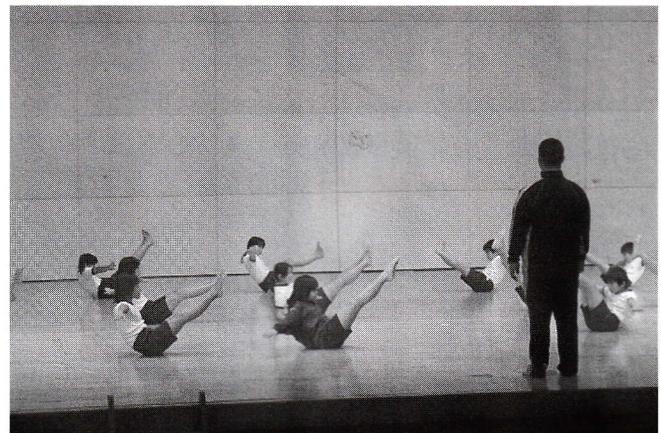
—「うち」の家庭教育をそれぞれつくろう—

「かんだっ子」教育の集い



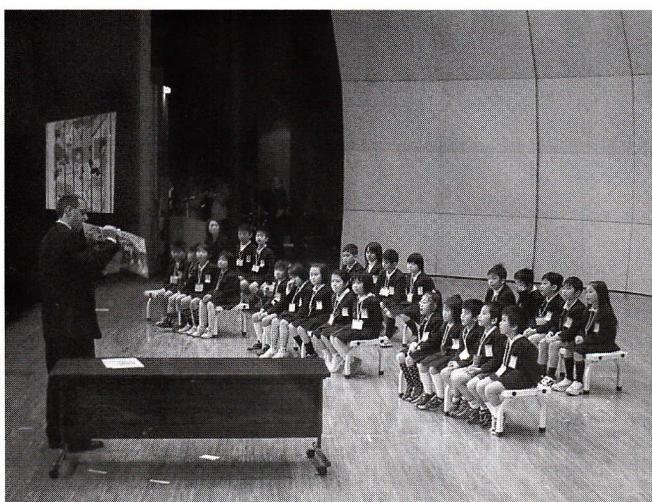
昨年の暮れに「かんだっ子」教育の集いが開催されました。苅田町教育委員会通信「めだか」でも紹介され、みなさんもご存じとは思いますが、会場には多くの方が訪れ、小学校や中学校の生徒の活動を熱心にご覧になりました。

今年は苅田中の3年生の司会進行により、苅田中、与原小、白川小、苅田小の4校が日頃の授業や部活動などの成果を発表しました。



今年から苅田町では教育改革のひとつとして小学校にも体育や音楽の授業で専科指導が行われています。今回の「かんだっ子」教育の集いではそれぞれの授業の様子も発表されました。

体育の授業では子ども達のきびきびとした動きに、音楽の授業ではすばらしい合唱に会場のみなさんは、感心した様子でした。



週1回英語活動が行われる外国語教育の環境も整えられています。左の写真は2年生の英語の授業の様子です。また地域のことを知るために「ふるさと学習」も行われています。下の写真は五穀豊穣を願う等覚寺の「松会」を舞う様子です。



苅田町の小学校では

地域の子どもは、地域で守り育てる 「地域のおじさん、おばさん」になってください。

「地域のおじさん、おばさん運動」の基本は、近隣の子どもたちと向き合い、温かく見守ろうという気持ちです。自分ができる身近なことからはじめましょう。

たとえば、
こんなことからで
いいんです

◆子どもたちに積極的に声かけをする

良い行いを目にしたときは、ためらわずに褒めてあげる。危険な遊びやルール違反には、見て見ぬふりをせずに注意しましょう。

- うちの地区は、大人も子どもも、交流が多いと思う。朝、学校に行くときは、「いってきます」「いってらっしゃい」。帰ってくるときは、「ただいま」「あかえりなさい」などの言葉がとびます。あいさつをすると気持ちがいいし、うれしくなります。(愛知県 中3)



◆子どもたちの立場を考えてあげる

子どもが困っているとき、苦しんでいるときこそ、良き理解者、親身な相談相手でありたいもの。

- 私は、つらいことや悲しいことなど、お母さんに話します。お母さんはいつも私の立場になって考え、アドバイスをくれます。「〇〇がつらいときは、いつでもおいで。お母さんの相談窓口はいつもあります。」私は、この言葉にいつも救われます。

(福島県 中3)

◆子どもたちを事故や犯罪などから守る

地域に事故につながる危険な場所はないですか。子どもを誘惑したり、犯罪に巻き込む恐れのある場所はありませんか。そういう観点から地域の環境を再点検してください。



子どもたちの安全・安心を確保する「子ども110番の家」や「地域パトロール活動」等を強化しましょう。

◆情愛の気持ち・独立心を育んであげる

友だちとの遊び、自然や動植物とのふれ合い、異年齢グループの中での活動などは、健やかな心や体を育むうえで欠かせない体験です。



子どもたちがのびのびと活動できる機会を積極的につくってあげましょう。

◆良いことは率先して行う

- 私は大人の背中を見て成長して行きます。大人がきちんととした行動をとっていなければ、その姿を見て育った私達もその大人のようになってしまうと思います。これから先、「いい生き方」をしている大人に出会えたらしいなと思います。(福島県 高1)

社団法人「青少年育成国民会議」では、全国の都道府県民会議や市町村民会議、青少年関係団体とともに、「青少年の心を育てるキャンペーン」を展開中です。



すこやか編集委員会の様子

町民の皆さんに、各種行事の報告など解かりやすく、読んでいただけるように努力しております。

三役・部会長会議の様子

真剣な討議を重ねております。



苅田町青少年育成町民会議では、年間の行事や身近な問題などを推進・具体化していくため、役員会を開催しております。

役員会



編集後記

先日、町のふれあいマラソン大会の手伝いをする事になりました。それぞれのコースを走った後、まつ赤な顔をして、豚汁をおいしそうに食べ、おかわりをしてくる子どもたち・・・。元気で健やかに育つてほしいと願つて「いっぱい食べてね」と声をかけながら、子どもたちから元気をもらつた気がします。

この子どもたちのためにも将来に希望がもてる社会になつてほしいと祈りながら暖かな春の一日に感謝して帰路につきました。

平成18年度すこやか編集委員会
編集長

三浦 金丸 松枝 荒鬼 庄野 石田 正枝
豊 晴樹 玲子 文子 和子

編集・発行
苅田町青少年育成町民会議
すこやか編集委員会
0934-9838